

手話を言語とされている聴覚障がい者の声を聞いてみました

Q:手話ってどんなの？

- ・ 手話は便利。手話は見てわかる、見て伝わる言葉と思います。
- ・ 手話は、手指の動きや顔の表情を使って、豊かな感情やニュアンスを表現できます。
- ・ 簡単な手話を覚えると、聞こえない人も聞こえる人も共に意思疎通ができて交流の輪も広がります。

言葉を伝えよう
手話で人と人をつなげよう



手話：伝える、つなぐ

Q:まちで困ることや助かることはありますか？

- ・ 最近では、駅などで有人窓口が減っており、音声のみの対応も増えてきていますが、聞こえないので困っています。駅にモニターがあって、筆談はできますが、手話のように細かいニュアンスが伝わらず困ることがあります。
- ・ 緊急時や災害時の避難生活も放送アナウンスが聞こえなくて不安で怖いです。掲示板やデジタルサイネージなどで、文字でも情報を伝えてほしいです。
- ・ 手話ができなくても、病院、お店、銀行、公共施設などで聞こえないことに気付いてもらえたら、マスクを外して身振りや筆談などで積極的に話してもらえるとうれしいですし、助かります。
- ・ 会議や窓口の手続きなどで、終わったかどうか分からないので、はっきりと教えてもらえると助かります。

Q: 手話が広がることで、どんなまちになってほしいですか？

- ・ まちのなかで、手話で「ありがとう」など自然に伝わるとすごくうれしいです。手話で人とつながるまちであってほしいと思います。
- ・ 学校の子どもたちが手話であいさつできるようになったらいいですね。
- ・ 聞こえない人も聞こえる人も、手話で勉強や交流できる場所が増えるといいですね。



吹田市では、条例や方針を策定し、これから手話を広げるさまざまな取組を進めています。



「手話であいさつ」バッジは、3つの手話を覚えた職員に配布しています。

